



## 2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月31日

上場会社名 東亜合成株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4045 URL <https://www.toagosei.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長COO (氏名) 小淵 秀範  
 問合せ先責任者(役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 堤 慎吾 TEL 03-3597-7215  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	119,863	△2.8	10,607	△1.4	11,149	△8.2	8,002	△23.8
2024年12月期第3四半期	123,363	6.2	10,762	33.1	12,142	25.5	10,506	28.5

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 9,549百万円(△13.7%) 2024年12月期第3四半期 11,064百万円(△20.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	72.99	—
2024年12月期第3四半期	92.15	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	275,972	209,349	75.5
2024年12月期	278,020	213,668	76.5

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 208,237百万円 2024年12月期 212,586百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2025年12月期	—	32.50	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	32.50	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	162,500	△3.0	14,000	△1.6	14,800	△7.5	12,200	2.7	111.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) トウアゴウセイ・ケミカル・インディア・プライベート・リミテッド

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、第3四半期決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期3Q	113,000,000株	2024年12月期	113,000,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	5,715,202株	2024年12月期	970,946株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期3Q	109,639,824株	2024年12月期3Q	114,015,165株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付信託が保有する当社株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後様々な変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、第3四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 研究開発活動 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(四半期連結損益計算書関係) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績に関する説明

#### (ア) 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年1月1日から2025年9月30日まで）の世界経済は、米国の関税政策による影響が懸念されましたが、企業のコストダウンと慎重な価格転嫁により急激な悪化は抑制され、底堅く推移しました。そのような中、米国の成長ペースは減速し、中国はデフレ圧力が継続し、欧州は低成長となりました。また、わが国経済は、物価高が継続したものの、雇用環境の改善、インバウンド需要の回復、株価上昇等により、緩やかに景気は持ち直しました。

このような状況下、当社グループは、拡販活動やコスト削減に注力するとともに、製造設備の増強、研究開発力の強化、海外拠点の設立など、今後の成長に寄与する投資を進めてまいりました。その結果、売上高は1,198億6千3百万円（前年同期比2.8%減収）、営業利益は106億7百万円（前年同期比1.4%減益）、経常利益は111億4千9百万円（前年同期比8.2%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は80億2百万円（前年同期比23.8%減益）となりました。

#### (イ) セグメント別の業績

##### ①基幹化学品事業

電解製品は、販売数量が減少し、減収となりました。アクリルモノマーは、一部製品の販売数量減少と原料価格安に連動した販売価格低下が影響し、減収となりました。工業用ガスは、製造関連会社のトラブルによる稼働停止により販売数量が減少し、減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は533億3千9百万円（前年同期比8.2%減収）となりました。

営業利益は、全般的に販売数量が減少したものの固定費の削減により、67億3千万円（前年同期比9.0%増益）となりました。

##### ②ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、車載用部品向けの販売数量が減少し、減収となりました。アクリルオリゴマーは、販売価格改定により、増収となりました。高分子凝集剤は、海外向けの販売数量増加と販売価格改定により、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は266億2百万円（前年同期比2.2%増収）となりました。

営業利益は、原材料価格の上昇や固定費の増加により、22億9百万円（前年同期比30.7%減益）となりました。

##### ③接着材料事業

家庭用は、米国での合弁解消による体制変更の影響と中国等における販売数量の増加により、増収となりました。機能性接着剤は、車載用部品向けの販売数量は堅調でしたが、スマートフォン用部品向けの販売数量が減少し、減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は100億5千1百万円（前年同期比0.2%増収）となりました。

営業利益は、米国での体制変更に関わる固定費の増加により、2億1千6百万円（前年同期比42.0%減益）となりました。

##### ④高機能材料事業

高純度無機化学品は、AI向け半導体の旺盛な需要が継続しましたが、その他の需要回復が遅れたことにより販売数量が減少し、減収となりました。無機機能材料は、無機抗菌剤の輸出が減少したことにより、減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は74億3千2百万円（前年同期比2.7%減収）となりました。

営業利益は、高純度無機化学品の販売数量の減少により、7億4千1百万円（前年同期比21.4%減益）となりました。

⑤樹脂加工製品事業

環境インフラシステム(旧 管工機材製品)は、下水道関連向けの販売数量の増加により、増収となりました。ライフサポートは、介護製品の需要低迷により販売数量が減少し、減収となりました。エコマテリアル(旧 エラストマーコンパウンド)は、タイの拠点での販売数量の増加により、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は206億9千5百万円(前年同期比2.9%増収)となりました。

営業利益は、環境インフラシステムのインフラ老朽化対策向け製品の増販とライフサポートの採算是正およびエコマテリアルのタイでの増販が寄与し、19億7千5百万円(前年同期比90.0%増益)となりました。

⑥その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成されている当セグメントは、商社事業などが増収となり、売上高は17億4千3百万円(前年同期比19.6%増収)となりました。

営業損益は、川崎フロンティアエンスR&Dセンター等の費用増加により、12億6千9百万円の損失(前年同期比31.6%減益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、建設仮勘定の増加により有形固定資産の「その他(純額)」が増加したものの、「現金及び預金」などの流動資産が減少したため、前連結会計年度末に比べ20億4千7百万円、0.7%減少し、2,759億7千2百万円となりました。

負債合計は、新規社債の発行により固定負債の「社債」が増加したため、前連結会計年度末に比べ22億7千万円、3.5%増加し、666億2千2百万円となりました。

純資産合計は、自己株式の取得により「自己株式」が増加したため、前連結会計年度末に比べ43億1千8百万円、2.0%減少し、2,093億4千9百万円となり、自己資本比率は75.5%となりました。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費の総額は50億1千3百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において、当社グループが判断したものです。

当第3四半期連結累計期間は、全般的に出荷数量減となりましたが、コストダウンや販売価格改定などにより、利益確保に努めました。第4四半期以降の経済動向は、米国の関税政策の影響、地政学的リスク、各国の金融政策の動向なども含め、先行きは不透明です。

このような環境のもと、将来の業績を高い精度で算定することは困難なことから、現在発生している様々な出来事がこれ以上大きくならないとの前提に立ち、7月31日に発表いたしました2025年通期の連結業績予想は据え置くことといたします。なお、業績予想の変更が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,821	20,317
受取手形及び売掛金	42,359	37,032
電子記録債権	9,860	10,298
有価証券	11,000	6,000
棚卸資産	24,734	25,864
その他	4,026	3,954
貸倒引当金	△52	△48
流動資産合計	122,750	103,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,664	40,781
機械装置及び運搬具（純額）	23,486	23,059
土地	30,445	33,121
その他（純額）	18,254	26,398
有形固定資産合計	111,851	123,361
無形固定資産	1,666	4,740
投資その他の資産		
投資有価証券	34,023	36,794
退職給付に係る資産	5,014	5,063
その他	2,720	2,634
貸倒引当金	△6	△41
投資その他の資産合計	41,751	44,450
固定資産合計	155,270	172,552
資産合計	278,020	275,972

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,740	16,167
短期借入金	6,209	2,465
未払法人税等	2,762	570
賞与引当金	11	772
製品回収引当金	154	136
その他	20,874	16,365
流動負債合計	48,753	36,477
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	4,834	8,240
退職給付に係る負債	122	134
株式給付引当金	284	403
その他	10,357	11,366
固定負債合計	15,598	30,145
負債合計	64,352	66,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	14,166	14,166
利益剰余金	157,874	158,932
自己株式	△1,375	△8,259
株主資本合計	191,551	185,726
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,537	16,337
為替換算調整勘定	5,260	5,042
退職給付に係る調整累計額	1,236	1,131
その他の包括利益累計額合計	21,034	22,511
非支配株主持分	1,082	1,112
純資産合計	213,668	209,349
負債純資産合計	278,020	275,972

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年9月30日)
売上高	123,363	119,863
売上原価	89,311	85,271
売上総利益	34,052	34,591
販売費及び一般管理費	23,289	23,984
営業利益	10,762	10,607
営業外収益		
受取利息	279	179
受取配当金	934	793
持分法による投資利益	138	73
固定資産賃貸料	76	17
為替差益	256	—
その他	91	158
営業外収益合計	1,776	1,221
営業外費用		
支払利息	111	158
環境整備費	146	199
為替差損	—	170
投資事業組合運用損	101	51
遊休設備費	8	5
その他	28	93
営業外費用合計	396	678
経常利益	12,142	11,149
特別利益		
固定資産売却益	8	—
投資有価証券売却益	3,360	1,477
補助金収入	71	47
特別利益合計	3,441	1,524
特別損失		
固定資産処分損	971	1,322
投資有価証券評価損	—	182
災害による損失	※1 75	※1 58
圧縮未決算特別勘定繰入額	—	40
特別損失合計	1,047	1,604
税金等調整前四半期純利益	14,536	11,069
法人税等	3,948	3,007
四半期純利益	10,587	8,062
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	59
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,506	8,002



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	10,587	8,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	362	1,804
為替換算調整勘定	140	△211
退職給付に係る調整額	△25	△105
その他の包括利益合計	476	1,487
四半期包括利益	11,064	9,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,991	9,479
非支配株主に係る四半期包括利益	73	69

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月13日開催の取締役会決議に基づく自己株式4,825,200株の取得などを行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間にて自己株式が6,883百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が8,259百万円となっております。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱いおよび「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

## ※1 災害による損失

2024年1月に発生した能登半島地震による損失額であり、内訳は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
原状回復費用等	72百万円	58百万円
棚卸資産の滅失損失	2	—

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	7,716百万円	8,093百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	58,092	26,031	10,028	7,641	20,111	121,905	1,457	123,363	—	123,363
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,457	1,171	37	259	655	4,580	1,209	5,790	△5,790	—
計	60,550	27,202	10,065	7,901	20,767	126,486	2,667	129,154	△5,790	123,363
セグメント利益 または損失 (△)	6,173	3,189	373	943	1,039	11,719	△965	10,754	7	10,762

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益または損失の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益または損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	53,339	26,602	10,051	7,432	20,695	118,120	1,743	119,863	—	119,863
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,703	1,150	29	330	587	4,801	1,244	6,045	△6,045	—
計	56,042	27,753	10,080	7,762	21,282	122,921	2,988	125,909	△6,045	119,863
セグメント利益 または損失 (△)	6,730	2,209	216	741	1,975	11,873	△1,269	10,604	2	10,607

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益または損失の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益または損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。